

2019年3月20日

## 課題研究「アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実証的研究」 2018年度活動報告

**研究代表者:**杉森公一(金沢大学)

**研究委員:**堀井祐介(金沢大学)・河内真美(金沢大学)・山本啓一(北陸大学)・田尻慎太郎(北陸大学)・宮本知加子(福岡工業大学)・三浦真琴(関西大学)・安部有紀子(大阪大学)

**研究協力者:**沖裕貴(立命館大学)

### ■活動:

今年度は、2回の課題研究委員会の開催と課題研究シンポジウムを通じて、国内4大学の学生アドバイザー実践の報告・共有を中心に実践の枠組み化を検討した。研究委員の所属機関における実践事例収集のほか、国内シンポジウム等への参加、コロラド大学ボルダー校への訪問調査および 2018 International Learning Assistant Conference への参加により情報収集を行った。また、受講生を対象とする学生アドバイザーの効果に関する大学間共通アンケートを設計し実施した。これらの研究遂行を通して、アクティブラーニング型授業におけるピアの学修支援を実現する学生アドバイザー、その制度・研修・活動・効果の点在する事例をつなぎ、さらに線から面へ展開する議論を行う。

### ■発表・論文:

#### (学会発表)

杉森公一・河内真美・宮本知加子・田尻慎太郎・山本啓一(2018)アクティブ・ラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果, 大学教育学会第40回大会ラウンドテーブル, 2018年6月9日

岩崎千晶・三浦真琴(2018)PAL (Peer Assisted Learning)を支える学生アシスタントの学びについて, 大学教育学会第40回大会自由研究発表, 2018年6月10日

三浦真琴・岩崎千晶(2018)PAL (Peer Assisted Learning)を支える学生アシスタントの育ちについて, 大学教育学会第40回大会自由研究発表, 2018年6月10日

河内真美・杉森公一(2018)アクティブ・ラーニング型授業における学生アドバイザーの効果 大学教育学会第40回大会自由研究発表, 2018年6月10日

#### (論文)

杉森公一・河内真美・宮本知加子・田尻慎太郎・山本啓一(2019)〈ラウンドテーブル報告〉アクティブ・ラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果, 大学教育学会誌 40号2巻, 40(2), 107-111

#### (ポスター発表)

Kimikazu Sugimori, Mami Kawachi (2018) Active Learning Advisors as Peer Tutors to Enhance Active Learning Pedagogy at Kanazawa University, 2018 International Learning Assistant Conference, 2018.11.3

田尻慎太郎・西村悠・細江哲志(2018)横浜商科大学におけるSA制度とその教育効果, 東京工業大学 教育革新シンポジウム2018, 2019年1月30日

#### (シンポジウム開催)

摂南大学・関西大学共催 2019PAL フォーラム, 2019年2月23日

#### (受賞)

宮本知加子, アクティブ・ラーニング型授業を活性化するクラス・サポーターの育成, 九州工学教育協会協会賞, 2019年2月12日

#### ■調査のお願い(2019年6月現在)

本課題研究では、国内での学生アドバイザー制度の実施状況を把握するため、アンケートや現地訪問による調査の実施を予定しております。貴大学等で学生アドバイザー制度を導入(またはその検討を)している、あるいは学生アドバイザー制度に関心をお持ちの方で、これらの調査にご協力いただけます場合は、ご所属、お名前、ご連絡先(メールアドレス等)を [kadaikenkyumail@ml.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kadaikenkyumail@ml.kanazawa-u.ac.jp) までお送りください。

なお、2018年12月2日の課題研究集会でのシンポジウム III および2019年6月2日の大学教育学会第41回大会ラウンドテーブル18において、ご連絡先などをすでに記載いただいた方は結構です。